

講義名	日本事情 A【留学生科目】			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要

留学生が、日本の文化や習慣、伝統行事などの日本事情を、母国との比較を通じ理解すると同時に、日本語の読解力、語彙力、表現力の習得を目指す。

到達目標

留学生が自分とは異なる文化や考え方の存在に気づき、視野を広げることができる。
自分の文化を振り返り、新しい物や自分と違うものと接したときの姿勢を養うことができる。
日本語の学習と日本事情や日本文化の学習を一括に考える事により、言語と文化が繋がっていることに気が付くことができる。

提出課題

授業時に指示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に指示する

評価の基準

プレゼンテーション点40% + レポート点40% + 課題点20% = 100%

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5 回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって 15 分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻 3 回で 1 回の欠席となる
4. 1.5 分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.知っていますか日本のこと.	Jasso 日本語教育センター	穂高書店	2021	9784938672393
----------------	-----------------	------	------	---------------

参考図書

.日本語で文化体験.	長谷川由香他	アルク	1800	9784757436596
.クローズアップ日本事情15.	佐々木環枝	ジャパンタイムズ	2500	9784789016537
.留学生のための日本事情入門.	桂島宣弘	文理閣	2000	9784892594748

その他

日本の新聞
インターネットニュース

授業計画

1. 授業ガイダンス / プロローグ
2. 日本人の名前
3. 野球と日本人
4. マンガ・アニメ
5. いろいろいる言葉づかい
6. 日本人の一生
7. 年賀状・手紙・Eメール
8. 日本の観光地
9. 歴史
10. 季節と対策
11. マナー習慣・ルール
12. 年中行事・カレンダー
13. 方言
14. トラブル対策
15. 日本人50人に聞きました

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：学習する課に出てくる新出語彙や表現の意味を理解し、内容を一読しておく。（120分）
復習：学習した内容を見直し、まとめておく。（120分）
課題：適宜

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考